

健康福祉部会活動報告

部会長 延谷鐵子



去る1月23日(日)13時30分から勤労福祉会館4F大ホールにて『ふれあいサロン』を開催しました。今回のテーマを「百歳体操でフレイル対策」とし、講師を下関市本庁東部包括支援センターの皆様にお願いしました。当日はお話とDVDを見ながら「いきいき体操」に加えて口腔ケア「かみかみ体操」も同時にを行い、厳しい寒さのなか参加者19名の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。フレイル対策は身体的、精神的、社会的な面においてケアすることが大切だと言われています。百歳体操はそういう観点からもクリアしている活動だと思います。新たに取り組まれる予定の自治会の方々も参加しておられ、今後とも実施する自治会が増加する事を期待しています。

地域 勉強会

「赤間神宮の歩み」を聞く会

本会は、令和3年10月に、赤間神宮崇敬会副会長・日本西門鎮守八幡宮氏子会会长の佐々木乾二氏が、戦後、戦災で焼け、何もない所から現在の赤間神宮を復興させ、時代の寵児でもあった先々代の水野久直宮司のお話を後世に残さなければとの強い思いで立ち上げられました。

日程に関しては、地球上に一番影響のある「月」の周期、それも月のエネルギーを最も浴びる「満月」の日に開催されています。その為、別名「満月の会」とも呼ばれています。

本会では、神社の正式参拝とはいきませんが、正式参拝に近い形で会を進行しており、まず、水野大直宮司の先導で赤間神宮遙拝（開運祈願）をし、「赤間神宮の歩み」を水野直房名誉宮司に約一時間お話を戴き、最後に神様に対し「ありがとうございました」と一礼します。直会の代わりに和菓子とお茶で締めくくられます。

これまで、赤間神宮御造営秘話、昭和天皇の御参拝、「水天門」について、赤間神宮復興の流れ、「先帝祭」について、ポスト平家について（湯西川平家の里）、「怨靈」について、耳なし芳一、「阿弥陀寺住職」について、「建物の由緒」について、「崇敬会、50年の歩み」（崇敬会の発会と代々の会長）、赤間神宮の碑文について、大連神社について、昭和天皇と赤間神宮、戦後の神前挙式、等のお話をお聞きしました。

名誉宮司は宮内庁にも奉職されておりましたので、いろいろと普段聞けないお話を聞け、昨年には米寿を迎える、益々お元気で、全盛期を彷彿させるお話をしぶりで、毎回楽しく拝聴させて戴いています。

本会は、出来る限り続けて行きたいと思っております。都合がつきましたら、是非ご参加下さいます様宜しくお願ひ申し上げます。



平田 雅己

会費 .. 千円	(毎月・満月の日)	四月六日(木)
お問い合わせ先 ..		
赤間神宮龍宮殿		
二二二一一四		
一三		
一		

顧問ペンリレー

中東地区まちづくり協議会によせて



本池 涼子

2019年よりまちづくり協議会の運営にかかわらせていただくことになりました。

ひとことで「まちづくり」といってもその内容は多様で、地域のため、高齢者や子どもたちのためにさまざまな活動がおこなわれていることを知りました。なかでも、地域づくり部会の活動に参加させていただいているが、埋もれた地域の歴史の発掘とそれを伝承する活動やペットボトルツリー、遊休農地での体験など、住民同士が横に

つながり地域をもりあげていくためのとりくみがおこなわれており、その熱意には本当に頭が下がります。こうしたまちづくり協議会の活動により多くの方が参加され、支えあいの輪を広げたり、暮らしのなかでの不安や課題を共有できる場になっていけばうれしいです。私自身、そのような「まち協」の一員となれるよう、みなさんには学びながら努力していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。